

横浜市障害者スポーツ指導者協議会 機関誌

BASEL

- 発行責任者: 横浜市障害者スポーツ指導者協議会
- 編集責任者: 広報担当理事
- 連絡先: 〒222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752
[事務局] 横浜ラポール スポーツ事業課内

Fax 045(475)2053

<http://www3.ocn.ne.jp/~basel/>



マスコットキャラクター: ゆりーと

全国障害者スポーツ大会

今年、東京で開催される全国障害者スポーツ大会では、横浜市代表のバスケットチームは、3連覇に挑みます。先日行われた、選手説明会でも目標に掲げていました。バレーボール・ソフトボール・個人競技の選手も皆さん意気盛んと見受けました。応援宜しくお願い致します。

又、正式種目の他に、オープン競技・デモンストレーションとしてのスポーツ行事が、数多く行われます。国民体育大会と合わせて、会場に足を運んでみませんか？

全国障害者スポーツ大会 10月12日(土)～14日(月・祝)

★『スポーツ祭東京2013』大会の詳細は、こちらをご覧ください！

<http://www.sports-sai-tokyo2013.jp/volunteer/unei.html>

平成24年度障害者スポーツ協会及び指導者協議会の合同会議参加報告

1. 日 時:平成24年3月6日(水) 12:00～15:30

2. 会 場:ホテル日航・東京(東京都港区台場1-9-1)

3. 出席者:北川 順一

4. 次第

(1) 開会挨拶:吉田常務理事

・障害者スポーツ支援に関する謝意。

・障害者スポーツに関する大きな動き。①ロンドンパラリンピックの活躍134名の選手団を派遣。金5、銀5、銅6 を獲得

②2020年オリンピック、パラリンピック招致活動支援

・スポーツ現場における暴力根絶について会長声明を文書で通知した。

(2) 日本の障がい者スポーツの将来像(ビジョン)について(案) 骨子:吉田常務理事

①ビジョン策定の背景

②障がい者スポーツの理念

③障がい者スポーツの将来像(ビジョン) 最終案を取り纏め中との報告があった。

(3) 平成24年度事業報告(案) 平成25年度事業計画(案):高橋事務局長

事業報告(案)と事業計画(案)の概要について説明があった。

(4) 地域における障害者スポーツの振興事業について(国庫補助金事業):中森指導部長

・平成24年度事業と平成25年度事業について ・平成25年度事業募集要項の概要(案)

(5) 障害者スポーツ指導員アンケート調査結果概要報告:水原養成研修部次長

・調査期間 :2012年3月15日～5月31日

・回収率 :17, 4%(回収数 3803件/21924人)

・第1報 :平成24年12月単純集計データを報告

・第2報 :平成25年3月末までに、協会 HP に掲載予定。

・今後の予定:都道府県・指定都市別にデータを集計した物を CD に個別に提供する。

(6) 生涯スポーツ・体力づくり全国会議について:水原養成研修部次長

① 全国会議2013の開催 ・期日:平成25年1月25日(金) ・会場:宮崎観光ホテル

② 次回以降の開催候補予 ・平成25年度:山口県、平成26年度:岩手県、福島県、平成27年度:宮城県

(7) 技術委員会活動報告・今後の課題:大久保技術委員長

① 技術委員会の役割と分担

② 全国障害者スポーツ大会に関する活動

③ 障がい区分判定研修会開催

平成24年6月16日、17日に東京青年館で開催した。平成20年度から開始し5回目、延受講者数は214人。

<http://www3.ocn.ne.jp/~basel/>

全国の都道府県のうち、9県からは参加がない。

平成25年度は、6月15日(土)、16日(日)に長崎県総合福祉センターで開催する。

④ 今後の課題

(8) 科学委員会活動報告・今後の課題: 荒木科学委員長

- ① JPC 研修会の企画・調整
- ② H24 年度障害者競技スポーツ医・科学・情報サポート推進事業への協力
- ③ 今後の課題

(9) 医学委員会活動報告・今後の課題: 医学委員長欠席 欠席のため、資料のみ。

(10) 全国障害者スポーツ大会について

- ① 第12回全国障害者スポーツ大会 ぎふ清流大会実行委員会事務局: 協会松井
- ② 第13回全国障害者スポーツ大会準備状況
スポーツ祭東京2013実行委員会事務局
・会期: 平成25年10月12日(土)～14日(月・祝)
・会場: 味の素スタジアム(メイン会場)、辰巳国際水泳場、東京体育館ほか
・開会式: 参加者は、水泳及びフライングディスクを除く32名
・味の素スタジアムは、調布飛行場に隣接し、建物の高さ制限があり、フィールドが3m低く、1, 3, 4ゲートがスロープになっているので、車椅子での移動は配慮してほしい。
・陸上競技と補助競技場の間に市道があり、往来に制約がある。
- ③ 全国障害者スポーツ大会競技規則の改正について: 大久保技術委員長
・次の競技の一部が改正または解説が加えられた。
陸上競技、水泳、アーチェリー、フットベースボール、サウンドテーブルテニス、サッカー

(11) 各県等スポーツ協会近況報告等

栃木県障害者スポーツ協会および山口県障害者スポーツ協会より報告があった。

(12) 各県障害者スポーツ指導者協議会報告

九州ブロックと北海道障害者スポーツ指導者協議会および富山県障害者スポーツ指導者協議会より報告があった。

(13) 自由討論

小林運営委員長を座長として「県等障害者スポーツ協会と指導者協議会の連携による地域振興について」を議題として自由討論が行われた。

(14) その他

一般社団法人日本パラリンピアンズ協会(PAJ)の紹介: 河合純一会長

パラリンピックに日本代表として出場した経験のある選手有志による選手会。

「Sports for Everyone」を目標に掲げ、誰もがスポーツを楽しめる社会の実現に向けて活動している。協会の趣旨に賛同いただき、賛助会員(個人・団体)加入をお願いしたい。

第18回ハマピック個人種目を終えて

スポーツ事業課 振興担当 福田 豊

先日の5/5(祝)、五月晴れの下、三ツ沢公園陸上競技場にてハマピック陸上競技が行なわれました。これでハマピックの個人全種目(7種目(STT、卓球、アーチェリー、ボウリング、フライングディスク、水泳、陸上))が無事に大きな事故や怪我もなく、終わりました。

私個人的には今年度よりハマピック・全国大会の担当となり、毎回、不慣れな仕事のため緊張しながら5種目に携わらせていただきました。しかし、ハマピックの各種競技会会場では、横浜市障害者スポーツ指導者協議会(BASEL)の皆様が慣れた面持ちで大掛かりな用具の準備や片付けも手早くこなし、各任務を全うされているのが心強く感じ、印象的でした。休日の朝早くからこうした光景を拝見し、参加選手にも優しく声掛ける姿を見て、大会運営においては皆様のご協力がなければ、成功を収める事ができないことを改めて痛感しました。本当に心より感謝申し上げます。

最後の個人種目陸上競技大会ではパラリンピック選手のエントリーもあって、世界レベルの迫力ある走りを見ることができ、大会を盛り上げていただく一幕もありました。皆様の大きな声援も聞こえ、大変喜んでいただけたことと思います。

また、各競技を見て、競技性の高い種目と低い種目の差も実感致しました。このような競技性の差を解消していくことは私たちに課せられた大きな任務として受け止めなければならないとも思いました。



ラポールでは横浜市の障害のある方が初心者から競技者の方までスポーツを親しめるような環境整備の充実を図っています。さらに今年度からは、支援者の皆様を含めてスポーツ活動を通して“みんな笑顔”になることをビジョンに掲げています。ハマピックの各種競技性を高めることや選手やスタッフの人材育成も含め、ラポール職員一丸となってプログラムの充実を図っていく所存であります。

今後も、横浜市障害者スポーツ指導者協議会とラポールが構築してきた連携を活かし、障害のある方のスポーツ環境を広げ、振興を目指していききたいと思います。

さて、今年の全国障害者スポーツ大会は近隣の東京で開催されます。

6月からは横浜市選手団は強化練習を行っていき、10月の本番に望んでいきます。公共交通機関を使っても1時間圏内なので是非、皆様の応援を心待ちにしております。横浜市の代表選手のご活躍をご期待ください。



会員の活動・体験報告

《1月20日(日)スポーツフェスタ ボウリングの日 於:横浜ラポール》

広報

年々参加者が増えてきて、終日大賑わいのボウリング場です。午前中のジュニアの部では、家族で楽しむ姿、午後の部では、楽しみながらも真剣にピンにチャレンジする姿が、見られました。ボランティアの皆さんも今回は、ベテラン揃いに見受けられました。一緒に楽しみながら、そつなく動く姿に感心させられました。お疲れさまでした。

《2月17日(日)スポーツフェスタ ボッチャの日 於:横浜ラポール》

広報

ボッチャは、脳性麻痺などの運動能力に障害のある競技者向けのスポーツです。パラリンピックの種目でも有ります。横浜市では、脳血管障害の方々のリハビリに取り入れて、老いも若きも、障害者も健常者も共に楽しめるゲームとして人気です。フェスタ当日も、メインアリーナー面にコートを作成し、大勢の方が、一日中楽しみました。



ボッチャ審判を行う会員ボランティアさん

《3月17日(日)スポーツフェスタ サッカーの日 於:谷本公園球技場》

理事 内海 諭

日曜日の午後、晴天に恵まれ、谷本公園球技場で、10チームが参加して、「スポーツフェスタサッカーの日」が、開催されました。

日頃の練習の成果を発揮して、コーナーキックから、敵の前に飛び込んでゴールする、J リーガーのようなプレーや、折角練習した成果を出せずに、目の前のゴールにミスキックで外すプレー等、いろいろなプレーが有りましたが、みんな楽しんでいました。

幸い、大きな怪我もなく、無事に大会も終わりました。

今回は、みんなが楽しむことを主眼にした、2ブロックに分かれてのリーグ戦でしたので、優勝チームは発表されませんでした。

閉会式では、主催者側から、「これらのチームから、練習を重ねて、上の大会に出られることを期待しています。」とのコメントもありました。



開会式に集合した選手の皆さん

《3月24日(日)第3回チャレンジ水泳記録会(片山博杯争奪)》

非営利活動法人 横浜市障害者スポーツ協会 理事長 宍戸 かつ子

昨年の3月にはプールの手配が叶わず開催できなかった当大会も、今年の3月には無事に開催できました。しかし、今回の大会には、この水泳大会の要でもある、片山 博先生の姿が無く、非常に残念でもありました。

『どんな選手にも1位になれるチャンスを』と考えられ、選手自身がタイムも距離も想定してエントリーする方式は、毎年、片山先生も楽しみにして下さっていました。

先生が亡くなられて、一時期は大会も行わないという選択もなかったわけではありません。ただ、毎年この大会を楽しみに、あるいは目標に練習をしている選手の方々もいるという事を考えれば、開催するべきですし、きっと先生も望まれているであろうと思いました。



開会式の様子

前回よりも、多くの選手の方々が、エントリーして下さいました。選手の方々の笑顔、お魚さんのスイムキャップ??をかぶっての参加、それぞれの選手が楽しんで下さっている大会だと思いました。

川崎市の橘高校水泳部の方々や多くのボランティアの方々、横浜ラポールの方々にもご協力頂き成功裏に終わった事に心から感謝申し上げます。次回も、多くの方々の笑顔・チャレンジをする姿にお会い出来る事を楽しみにしております。

《4月14日(日)ハマピック アーチェリー競技 於:横浜ラポール》

広報

30m、50mラウンド2名、30mダブルラウンド3名の計5名

(内女性1名)が日ごろの練習成果を競いました。競技は1ラウンド36射で2ラウンド行われます。当日は風が強かったのですが、本番は屋外で行われるため、より条件が厳しいとのこと。選手の皆さんは緊張の中、好成績をあげられ、ボランティア共々

充実した1日を過ごしました。



競技中の選手の皆さん



《4月14日(日)ハマピック ボウリング競技 於:港北とうきゅうボウル》

会員 今村 佳子

私のボランティア初活動は、4月14日(日)港北とうきゅうボウルでの、ボウリング競技でした。

競技開始前のボウラーズベンチは「ドキドキドキドキ」の空気。選手の皆さんは、これから始まる競技への高揚で「ドキドキ」。一方、私は初めての活動が始まる緊張感で「ドキドキ」。今振り返れば、笑顔どころではない状態だったと思います。

「レーン補助員」としてどう動けばいいのか、頂いたプリントを何度も何度も読み返しながらのスタートでした。ただただ緊張で始まりましたが、選手の皆さんの勝負への熱い思いがどんどん伝わってきて、気が付い

会場内の様子

たらストライクやスペアでは、ハ

イタッチをして一緒に喜んでいました。

一日は、正にアツと言う間に終わってしまいました。ボランティア活動は「まずはやってみる」事だと、改めて今、思っています。一歩踏み出す事が出来たと、確かに感じた初日でした。

《4月14日(日)ハマピック サウンドテーブルテニス競技 於:横浜ラポール》

会員 小寺 昭夫



STT の試合の様子

今回、STT に初めてボランティアとして参加しましたが、選手・審判・応援の皆さんの真剣さに感動しました。

《選手》サーブでは5センチのコースアウトをし、しっかり判断したり、ラリー中には相手の打球がアウトであると見送るなど、集中力が勝敗を分ける競技であると思いました。また、強い球を打つだけでなく、弱い球を交えてスピードの変化を付けたり、相手の強い返球を待ち構えカウンターを狙うなど、技術面だけでなく、試合の

駆け引きが、たくさんある事も分かりました。

《審判》毅然たる態度に感心しました。「明確な打音がしていません。」「ダブルタッチしました。」「台を叩きました。」など、迅速な判断を下し、選手・応援者に明確に説明できる能力が優れていると感じました。

《応援》皆さん真剣に競技を見ていて、ラリー中は拍手も声も出せないのも、試合が終わり審判から○対○でAさんの勝ちとコールされると、今までの沈黙が破られ、大きな拍手が起こる事が印象的でした。また、試合終了後、選手が席に戻ると、ゲームのアドバイスだけでなく、皆で労いの言葉を掛けている事も、素晴らしいと思いました。

次回もSTT 競技に参加して、また、素晴らしい試合を見たいと思いますし、今後は、STT のルールも勉強したいと思っています。

《4月21日(日)ハマピック 水泳競技 於:横浜ラポール》

会員 佐々木 可愛

今年度から BASEL の一員となり、初めてお手伝いさせて頂いたハマピック水泳大会。

何もかもが新鮮に映りました。ラポールのプールは、確かに他のプールよりも温かいのだけれど、会場にいると大会そのものが、温かい雰囲気にも包まれている事が分かります。参加する選手の皆さんの礼儀正しさと明るい笑顔・・・ギャラリーから熱心に見守る家族の皆さんの笑顔。運営する皆さんも、選手が気持ち良く競技に参加出来るように、自然に協力して動いています。この会場の雰囲気が、ハマピック新記録が多数出た好大会に、導いてくれたのかもしれない。日々練習に励み、自分の活かせる力を最大限に発揮して、力強く泳ぐ姿に感動。いつの日か、3歳の娘がこの大会に参加する姿を夢見て、これからもお手伝いさせていただきます！

《4月28日(日)ハマピック 卓球競技 於:横浜ラポール》

会員 持丸 里香

4月28日に行われました、ハマピック卓球競技のボランティアに参加致しました。

業務は大まかにですが、受付補助(受付を済ませた選手にパンフレット・ゼッケンが入った封筒を渡す)・選手招集(各コートごとの次の選手を集める)・ボールパーソン(網を使ってボールを拾う)があります。

コートの外では、選手同士で話されたり、試合を見て応援されたりする方々もいて、和気あいあいと和やかな雰囲気を感じましたが、試合が始まると一転して、真剣なまなざしで、白いボールを追いかけていました。

当日キャンセルにより、一部の選手が予定していた対戦数が少なくなり、予定変更をするところもありましたが、選手の方々のご協力もあり、進行に支障なく無事終了して良かったです。

これからも選手の方々に、スムーズに心地良く試合をして頂けるような環境を作ることが出来ればと思います。まだまだ、ベテランの方々の足元には及びません。ボランティアは、都度精進です。

《4月29日(月・祝)ハマピック フライングディスク競技 於:新横浜公園投てき場》

会員 渡辺 美代子

「エエ～ッこんな事もするんだあ。」と思いながら大会への準備。重い荷物を持ち、大きなテントを3ヶ、小さなテントを1ヶ張る。今迄、数年の選手活動で気が付かなかった私。



投てき場での試合の様子

選手活動時は、本当に大会での自分の成果記録しか頭になかった。「裏でボランティアの方々が色々な事をしてくれていたから、達成できたんだな」と、今更ですが、理解しました。済みません。今、改めて頭が下がります。だけど、楽しいです。ボランティアの仕事。大会では、小さな役割しかしていませんが、たくさんの選手と話しをし、お手伝いをしました。仕事、家庭では得られない、何かを得た気がします。

これからも、重い荷物、小さな役割を、頑張ります。させて下さい。

《5月5日(日)ハマピック 陸上競技 於:三ツ沢公園陸上競技場》

会員 横山 博

五月晴れの下、第18回ハマピック陸上競技大会が行われました。私は、初級障害者スポーツ指導員となつて初めてボランティアとして競技役員を務める事になりました。娘が中学から陸上をやっているため、陸上大会



開会式で整列するボランティアさん達

の様子や試合の流れには馴染んでいましたが、グラウンドに立って係員として十分な働きが出来るかとても不安でした。

9時受付開始。挨拶の声を掛けながらゼッケンの入った封筒を渡すと、皆思いのほか元気が無い。そうか、年に一度の大きな大会とあって緊張しているんだな。

開会式後、10時15分から競技開始。次の役割はゴール誘導係。走り終えた選手をベンチに誘導します。「お疲れ様」と声を掛けながら、腰ゼッケンを外してあげると、「有難うございます。」と大

きな声でお礼を言われました。レースを終え、緊張

から解放された安堵感と充実感に満ちた表情が印象的でした。

長い一日でしたが、とても楽しかったです。気が付くと手首が赤く日に焼けていました。

《5月12日(日)サウンドテーブルテニス横浜大会 於:横浜市盲特別支援学校》

横浜市視覚障害者福祉協会 スポーツ部長 笠羽 明美

第28回 STT 横浜大会は、横浜市盲特別支援学校を会場に開催させて頂きました。

教職員の方を始めとして、神奈川県 STT 協会審判部の皆さん、バセル・ライトセンター赤十字奉仕団のボランティアの皆さん、出場して下さった選手の皆さん、多くの方々の御協力に心より感謝申し上げます。

大会結果

優勝:笠羽 明美 準優勝:栗田 くるみ 3位:長谷川 リウ子 4位:白畑 美緒 5位:丸山 雪子

横浜市 STT 協会では、普段の練習日に審判・卓球の相手・ボールパーソン等のボランティアとしての参加を随時お待ちしております。

毎月の練習日。第1木曜日:ライトセンター 第2日曜日:ライトセンター 第4月曜日:ラポール

時間:10時から15時まで(12時から13時は、休憩) 連絡先 笠羽(かさば)080-1040-6003

《5月25日(土)ふれあいスポーツ大会 於:三ツ沢公園補助競技場》

広報

体を動かすには、程良いお天気の中、第30回ふれあいスポーツ大会が、開催されました。

この大会は、参加者が、赤組と白組に分かれて11種目で得点を競いながら、楽しく一日を過ごします。ボランティアとして参加する方も多方面から集まり、私達にとっても活動の輪が広がる機会となりま



研修コーナー

<第35回種目別研修会>

開催日：平成25年5月12日（日）

会 場：障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール

テーマ：ポールウォーキング研修会

講 師：小島 亜来氏 横浜市障害者スポーツ文化センター横浜ラポール 指導員

参加者：20名

今回、取り上げられた種目は「ポールウォーキング」です。

横浜ラポールの小島 亜来氏に講師をお願いして、前半講義、後半は実技という内容の研修会でした。

講義では、ポールウォーキングとは、クロスカンリースキー選手のトレーニングをヒントに開発されたスポーツで、

その特徴として、

- (1)膝や肩にやさしい
 - (2)姿勢が矯正され、バランス良く歩ける
 - (3)全身の筋力を強化できる
 - (4)通常のウォーキングに比べて1, 5倍エネルギー消費量が大い
 - (5)年齢・性別・体力を問わず、誰もが気楽に楽しめる
- との説明がありました。

ポールウォーキングは、「ウォーキングポール」と呼ばれる杖に似た用具を使うため、マイナスイメージを持たれやすいが、他の競技同様スポーツ用具として捉えてほしいとの説明がありました。

このウォーキングポールは高さの調整ができるので、臍の高さを目安に左右同じ長さになるよう調整します。また、右左専用になっています。

こうした講義を踏まえ実技に移りました。

ウォーキングポールを使った準備体操は、筋が良く伸びて効果的でした。

最初は、意識せず上方を見ながら歩くことから始めました。ウォーキングポールについて歩くことを意識しすぎるとごちない歩き方になりやすいとのことでした。

練習方法として、まず、ウォーキングポールのグリップを握らず歩く。次にグリップを握らず、目線を高くして、腕を大きく振って歩く。慣れてきたらグリップを軽く握って歩く、を実践しました。

最後に、横浜ラポールの周りを体力に応じた距離を歩いて終了しました。



ポールを使って準備体操の様子



車椅子での参加者



『最初の一步』の練習風景

姿勢よく、早く歩けるようになり、講義で説明があったとおりウォーキングより疲労感を感じました。

炎天下の中、水分補給にもご配慮いただきながらわかりやすい講義をしてくださいました小島指導員に感謝しております。

お知らせコーナー

* 第36回種目別研修会

日 時 : 平成25年11月23日(土・祝)

場 所 : 障害者スポーツ文化センター横浜ラポール

テーマ: 検討中

募 集 : 平成25年10月初旬から末日

ホームページで皆さんに。郵送希望に登録されている方には書面でお知らせいたします。

* 新役員の紹介

先に行われました総会で監事に柳瀬光一さんが、推薦され、満場一致で承認されました。

水泳・ショートテニスでは自ら選手として、その他の競技には、ボランティアとして多方面に、ご活躍です。

宜しくお願い致します。



* 第15回横浜市障害者スポーツ指導者協議会総会

5月12日(日)に開催され、皆さんの承認を待つて終了致しました。

今後とも宜しくお願い致します。

* ボランティアを休む時

ラポール以外でのボランティア活動は、当日連絡を取りづらい事が有ります。

やむを得ない場合もあると思います。無断キャンセルにならないように、連絡先は、確認しておきましょう。

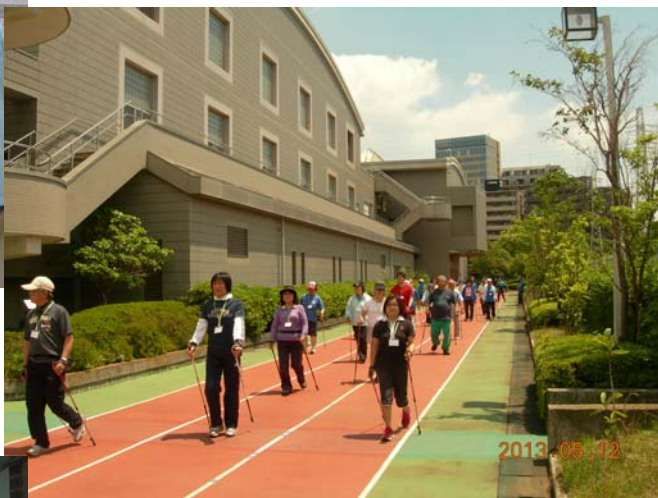
皆さんのパワーは、頼りにされていますよ!!

会員数 488名(5月末現在)

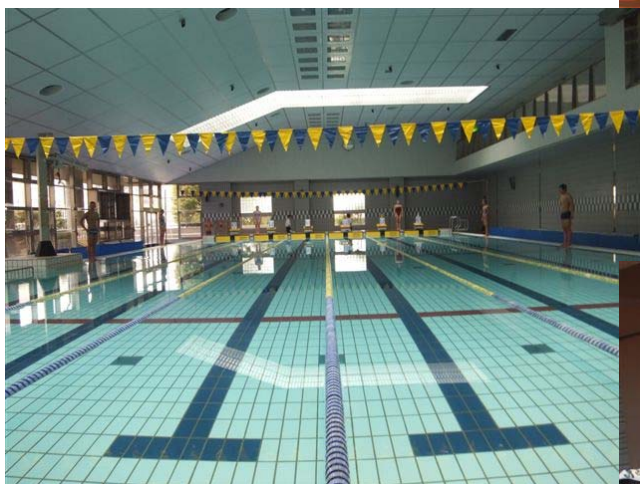
<http://www3.ocn.ne.jp/~basel/>



ハマピック ボウリング競技



種目別研修会



大会開始前のプール



「えーっこんな事もするの！」 テント張り



開始前のスタッフミーティング